

平成 23 年度第 4 回信州大学 FD ショートセミナー ～長期休業中の学習について考える～

日時： 7 月 12 日 (火) 16:30-18:00

ファシリテーター： 松岡幸司 (全学教育機構准教授・高等教育研究センター兼任)

セメスター制の導入によって通年開講授業が減ったことにより、長期休業期間中の学習指導が難しくなっています。しかし長期休業期間を挟み、カリキュラムマップ上で連続している授業は数多くあります。そのような授業間で、長期休業前後の接続学習（前学期の復習と次学期の予習）のために、長期休業期間を学生が有効に使えるように指導することは、以前にも増して必要なこととなっています。

今回のショートセミナーでは、間もなくやってくる夏期休業期間中の学生の学習について、どのような必要性があり、どのように学生に指導するか、という点について、ワークショップ形式で参加者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

I. 導入・概説：《課題》について

- ・ 《課題》について
- ・ セメスター中/長期休業期間中の《課題》
- ・ 《課題》にまつわる問題点
- ・ 長期休業期間中における学習の必要性について
 - カリキュラム上の観点から
 - 学習の継続性の観点から

II. グループワーク（1）：長期休業中の《課題》の必要性と問題点

- ・ 長期休業中の《課題》の必要性を明確にする
- ・ 長期休業中の《課題》の問題点について考える

III. グループワーク（2）：長期休業前にどのように《課題》を出すか？

- ・ 出題の方法について
- ・ 長期休業明けの対応について

IV. まとめ

II. グループワーク (1)：長期休業中の《課題》の必要性和問題点

- ・ 長期休業中の《課題》の必要性を明確にする
- ・ 長期休業中の《課題》の問題点について考える

1. 導入 (5 分程度)

1) 長期休業中の《課題》の必要性を明確にする

- ・ なぜ課題を出すのか？
- ・ 学生が課題に取り組むことに何を期待するか？

2) 長期休業中の《課題》の問題点について考える

- ・ セメスター中と長期休業中の違いは何か？
- ・ 長期休業中の課題の問題点は何か？

2. グループワーク (20 分程度)

1) 司会者・記録者・発表者を決めてください。

2) 上記「長期休業中の《課題》の必要性および問題点」について、グループ内で話し合い、まとめてください。その際に、上記の内容を参考にしてください。(15 分程度)

3) 「まとめ」の時間に行うプレゼンテーションで使うために、各グループ指定の用紙一枚にまとめてください。(5 分程度)

3. まとめ (15 分程度)

- ・ プレゼンテーションは、1 グループあたり 2 分以内です。
- ・ ちょうど 2 分でプレゼンテーションは終了となります。

(個人メモ用)

グループワーク（１）「長期休業中の《課題》の必要性和問題点」			
メンバー			
記録者		発表者	
長期休業中に《課題》が必要な理由			
長期休業中の《課題》の問題点			

Ⅲ. グループワーク (2)：長期休業前にどのように《課題》を出すか？

- ・ 出題の方法について
- ・ 長期休業明けの対応について

1. 導入 (5 分程度)

1) 長期休業 (夏休み) 中の《課題》の出し方について

- ・ 狙い・目的は何か？
- ・ どのように出題するか？
- ・ 指示はどのように行うか？

2) 長期休業明けの対応について

- ・ 課題の提出を行うか/行わないか？
- ・ 取り組んだ課題のフォローをどうするか？
- ・ 長期休業明けの Semester で、課題の内容をどのように扱うか？

2. グループワーク (20 分程度)

1) 司会者・記録者・発表者を決めてください。

2) 上記「《課題》の出し方および休業明けの対応」について、グループ内で話し合い、まとめてください。その際に、上記の内容を参考にしてください。(15 分程度)

3) 「まとめ」の時間に行うプレゼンテーションで使うために、各グループ指定の用紙一枚にまとめてください。(5 分程度)

3. まとめ (15 分程度)

- ・ プレゼンテーションは、1 グループあたり 2 分以内です。
- ・ ちょうど 2 分でプレゼンテーションは終了となります。

（個人メモ用）

グループワーク（２）「長期休業前にどのように《課題》を出すか？」			
メンバー			
記録者		発表者	
長期休業（夏休み）中の《課題》の出し方について			
長期休業明けの対応について			

I. 導入・概説：《課題》について

1. 《課題》とは？： Semester 期間中

- 学生にとって：宿題
 - # 前回授業の復習機能
 - # 次回授業の予習機能

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、… (大学設置基準 より)

- 教員にとって：自主学習の指導
 - # 定着
 - # 接続
- ⇒ 教育の質保証に関わる！

2. 《課題》とは？：長期休業期間中

- 前 Semester の復習機能
- 次 Semester の予習機能
- カリキュラム上の接続機能

3. 《課題》にまつわる問題点

- 必要性の認識
- モティベーション
- 教員にとって：出題とフォロー

4. 長期休業期間中における学習の必要性

- 学習の継続性という観点からの必要性
- カリキュラムの連続性という観点からの必要性